

定例記者会見発言録

日 時：令和4年11月18日（金）14時～

場 所：伊達市役所東棟4階 401・402会議室

出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、健康福祉部長、
産業部長、健康対策担当参事

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

資料1 令和4年伊達市議会定例会第9回定例会議提出議案の概要

資料2 「見て食べて知ってふくしまフェスティバル2022in名古屋」に出展

資料3 中小企業等のデジタル技術の導入を支援

資料4 市内小学生によるあんぼ工房見学とあんぼ柿の実食

資料5 伊達市特産「あんぼ柿」100周年PR事業を実施

資料6 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用した地方創生

資料7 I LOVE DATE 思い出写真撮影会を開催

《質疑応答》-----

伊達市特産「あんぼ柿」100周年PR事業を実施

■PRの仕方と奇形化への支援について

記者 あんぼ柿のPR事業について、原発事故の影響ですとか、最近霜とか奇形化の影響なんかがあって、生産者の方は大変苦しんでいる部分があると思うのですが、市としてどういったことで盛り上げていきたいと考えているのでしょうか。

市長 市としまして実施をしていた「柿ばせ」これについては前から実施をしておりますけども、多くの皆さんに伊達市のあんぼ柿の美味しさを分かっていたく取り組みが一番なのかなと思っています。それから今年で100周年でございますので、広報紙を通じたPR、それからラジオ番組についても、ラジオ福島さんでは生放送というのがなかったんですが、生放送で直接私が出演したり、生産者が出演して実施をするということで、今までのPRと合わせて今年は発信を強めていきたいと思っています。

記者 市内の一部の地区で奇形化というか不揃いの柿がかなり目立って被害が出ている地区もあるんですけども、市の方で支援策とか何か検証はされていますか。

市長 今、その点については調査をしております。どの程度の変形があって、被害が昨年と比べてどの程度の被害があるのかということ調査しております。今年につきましては、昨年よりも生産量としては多くなっているというところもありますので、そこを確認したうえで例年との比較をしたうえで支援のあり方を考えていきたいと思っています。